

超低高度衛星の利用に向けた超高層大気ワークショップ

JAXA 超低高度衛星利用ワークショップ事務局

開催日時：平成 27 年 9 月 2 日(水) 13 : 00 ~15 : 00

開催場所：情報通信研究機構 小金井本部 本館 4 階 国際会議室

(MTI 研究集会場内)

議事次第

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| (1) 趣旨および経緯 | 13 : 00-13 : 10 |
| | 事務局 |
| (2) 基調講演：低高度衛星観測から期待される超高層大気研究の進展 | 13 : 10-13 : 35 |
| | 成蹊大学 藤原均 教授 |
| (3) アンケート結果および分析 | 13 : 30-13 : 45 |
| | 事務局 |
| (4) 社会的課題、科学的課題、技術的課題に対する進め方 | 13:45-14:45 |
| | 事務局 |
| (5) まとめ | 14:45-15:00 |
| | 事務局 |
| | 以上 |

超低高度衛星の利用に向けた超高層大気ワークショップ

開催の趣旨

宇宙航空研究開発機構（JAXA）では人工衛星による新たな価値創生に向けた取り組みを行っており、その一環として、これまで人工衛星がほとんど利用してこなかった超低高度軌道（180km～300km程度）における観測を計画しています。

超低高度を利用する初号機として超低高度衛星技術試験機（SLATS）の開発を平成28年度の打上げに向けて進めています。SLATSにて軌道上実証を行い、その成果を後継機に継承するとともに新たな価値の創生に取り組んでいきます。

高度約100km～300kmの領域を地球大気最後のフロンティアとする考えもあり、研究者の方々から期待が寄せられています。超低高度衛星の利用による新たな価値の創生には、高層大気、熱圏、電離圏などの研究者により構成されるサイエンスコミュニティとJAXAとの関係構築が必要不可欠であると考えます。

これらを踏まえ、「第1回 超低高度衛星の利用に向けたサイエンスワークショップ」を開催することといたしました。今回は前回のご意見を反映して「第2回 超低高度衛星の利用に向けた超高層大気ワークショップ」を開催いたします。

アンケートの結果に基づき、SLATSの成果の最大化や将来の超低高度ミッションの提案を行うコミュニティ体制の構築について説明および意見交換を行います。